

「参宮快速」「日本旅行」・・・輝く滋賀の鉄道の歴史

びわ湖をめぐる鉄道歴史研究会 講師 北村 教一

草津線を走ったお伊勢参りの「参宮快速」

欧米諸国に追いつくべくわが国の早期の近代化を最大目標にした明治維新政府は、その実現のための道具として鉄道の導入を図り、早くも明治 5 (1872) 年に新橋・横浜間を、その 4 年後には神戸・京都間を開業した。進んで明治 13 (1880) 年 7 月、日本海沿岸の敦賀をめざし、日本人の手で初めて行われた工事区間の京都・大津間が開業、その象徴が旧逢坂山トンネルであった。

しかし、大津からの湖東線長浜までは鉄道連絡船で結ばれることになり、地元住民は不便を強いられた。そこで明治 17 (1884) 年、資力を持つ近江商人などの地元有志は工部卿に湖東線敷設を請願したが却下された。

請願却下に奮起した地元有志は、旧東海道沿いの伊勢商人と共同で明治 21 (1888) 年 3 月、「わが国近代郵便制度の父」前島密を社長に擁し、草津を起点に名古屋、伊勢を結ぶ私鉄関西鉄道を設立した。翌明治 22 (1889) 年には湖東線が開通、東海道線の全通をみたが、関西鉄道は同年の 12 月に草津・三雲間を開業したのを始まりとして明治 28 (1895) 年 11 月には草津・名古屋間を全通させた。さらに明治 30 (1897) 年 11 月には参宮鉄道を介して草津・伊勢間の直通ルートが完成した。当時、大阪や京都からの伊勢まいりにはこの草津線を利用したルートが最短コースで、大いににぎわった。草津線は現在でこそ東海道線の枝線のような位置づけにあるがその生い立ちはまったく別のものだったのである。そして、明治 40 (1907) 年には関西鉄道は国有化された。

昭和に入り、大阪電気軌道（大軌、後の近畿日本鉄道「近鉄」）は伊勢進出をめざし、参宮急行電鉄を立ち上げ、昭和 5 (1930) 年 12 月、大軌上六（現近鉄上本町）―参急山田（現近鉄伊勢市）間を開業させた。これに対し、鉄道省はその威信にかけ、同年 10 月、姫路発草津線経由鳥羽行の今の新快速よりも停車駅の少ない世に言う「（草津線経由）参宮快速」を走らせ、そこには食堂車も連結し、周囲を驚かせた。その後、戦局は悪化、昭和 18 (1943) 年「参宮快速」はいったん廃止された。戦後、昭和 28 (1953) 年に復活したものの、大阪、京都から頻繁に伊勢への直通特急電車を走らせる「近鉄」には太刀打ちできず昭和 40 (1965) 年 3 月全面的に廃止された。

「日本旅行の始まりは草津うばが餅屋さんだった」

話は戻るが、明治 22（1889）年の開業を予定していた湖東線草津駅は関西鉄道との分岐点となることが決まっており、鉄道局側はその草津駅に広い土地を必要としていた。

そのような折、草津で弁当やうばが餅を販売していた二代目南新助はその土地確保に尽力し、そのことが縁で、鉄道局は南家に草津駅での構内販売の許可権を与えた。

草津名物「うばが餅屋」さんが「日本旅行」を創設したという話はよく知られているが、その南（三代目）がどのような経緯で旅行あつ旋業を立ち上げたのか、その後、「日本旅行」を日本を代表する大手旅行あつ旋業に育て上げたことについてはほとんど語られることはない。

南が旅行あつ旋業を立ち上げたのは、若干二十歳の明治 38（1905）年であった。その動機とは、今日の南家の家業の安定は草津駅での構内販売の許可権を与えていただいた鉄道局のお蔭であり、鉄道局にその恩返しをしたかったことと、祖父から繰り返し聞かされていた旅の楽しさを、当時旅行することを億劫がっていた多くの人々に安心して提供したいということにあった。

「日本旅行」を立ち上げた南はまず手始めに高野山、伊勢への団体旅行を企画し大成功を収めた。その南が全国的にデビューするのは明治 41（1908）年、団体運賃割引制度を利用して本邦初の団体臨時列車を仕立てて実施された関東・善光寺七日間の旅行企画であった。一行は行くところ行くところで大歓迎をうけ、なかでも善光寺での歓待ぶりは大変なものだった。このことについては、作家田辺聖子さんの『姥ざかりの花の旅笠』の中にも書かれている。

これを契機に南は全国的に旅行団を募り、国内はもとより外国旅行団を数々と企画し、今日の「日本旅行」の礎を築いた。また、氏は旺盛な研究熱心さで事業に取り組み、数々のアイデアも生み出した。招待旅行のあつ旋、鋸輸送の実施、そして「お座敷列車」も南の考案である。

「日本旅行」が今日このような発展、盛況を来したのは厚い信仰心に基づいた「報恩奉仕」の誠実な南氏の人格によるものであり、また、南の片腕として活躍した木村七郎の貢献ぶりが大きいものがある。

草津から全国に雄飛した偉大な人物、南新助の業績、人となりをもっともっと多くの人に知っていただきたいと思うばかりある。